

**第120回新生ふくしま復興推進本部会議**  
**第31回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議**  
**合同会議 議事録**

- 日時：令和4年12月27日（火）10：00～10：05
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

**【鈴木副知事】**

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、報告事項の1つ目「令和5年度政府予算案等」、2つ目「復興・再生のあゆみ（第9版）」について、企画調整部長。

**【企画調整部長】**

資料1-1を御覧ください。先週金曜日、令和5年度政府予算案や地方財政対策等が閣議決定されました。政府予算対策については、国に対しあらゆる機会を通じて、知事を先頭に、本県の実情を丁寧に説明してまいりました。その結果、避難地域の復興・再生や、避難者等の生活再建、ALPS処理水の対応を含む風評払拭・風化防止対策の強化、福島イノベーション・コースト構想の推進、新産業の創出などの関連予算が盛り込まれました。8月の概算要求で事項要求とされました福島国際研究教育機構（F-REI）関連事業や、特定復興再生拠点区域外に係る事業の経費についても計上されております。そのほか、震災復興特別交付税措置の継続に加え、新型コロナウイルスへの対応や地方創生の推進、防災・減災、国土強靱化の推進に係る予算も引き続き確保されるなど、本県の要望を踏まえた対応が図られました。右の欄に政府予算案を活用した県の主な対応について記載しています。来年度予算等を有効に活用し、令和5年度も、切れ目なく福島県全体の復興と地方創生を両輪で進めてまいります。さらに来年度は、第2期復興・創生期間の折り返しとなることから、第2期後に必要な復旧・復興の取組や、その財源確保を求める取組も視野に入れながら執行する必要があり、留意してまいります。

資料1-2を御覧ください。来年度の福島イノベーション・コースト構想関連予算について、今月成立した補正予算を含め、主なものをまとめたものです。来春に法人が設立される福島国際研究教育機構（F-REI）については146億円が計上されております。イノベ構想を更に発展させるため、F-REI

のスタートアップを適切に軌道に乗せていくことが重要です。引き続き、国や市町村、関係機関等と連携しながら、福島イノベーション・コースト構想を推進し、浜通り地域等の復興・再生、ひいては、福島の復興・再生につなげられるようしっかりと取り組んでまいります。

続いて、資料2-1の「復興・再生のあゆみ」をご覧ください。今年8月に発行した第8版を更新し、第9版としました。本年10月1日に11年ぶりに再開通した只見線の全線運転再開記念イベントの写真を表紙に使用しております。本資料の基礎資料となる資料2-2の「ふくしま復興のあゆみ」も更新を行い、第31.2版として公表いたします。

#### 【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。  
なければ、知事からお願いします。

#### 【知事】

今月23日に閣議決定された令和5年度政府予算案については、岸田総理大臣を先頭に、各省庁の方々には、本県の実情を踏まえた対応をしていただきました。これは、各部署局長を始め、全庁が一丸となって、予算確保に取り組んだ成果であります。また、先日公表された「令和5年度税制改正の大綱」においては、長期的な復旧・復興の取組を支援するための財源の確保が明記されました。福島県の復興はいまだ途上にあり、震災と原発事故による複合災害との戦いは今後も長く続きます。第2期復興・創生期間以降も見据え、切れ目なく安心感を持って復興に取り組むことができるよう、中長期にわたり必要な財源の確実な確保を求めていく必要があります。令和5年度は、福島の創造的復興の実現に向けて、中核を担うF-REIがいよいよ具体的に動き始めます。第2期復興・創生期間の折り返しを迎えることに加え、度重なる自然災害や新型コロナウイルスへの対応、地方創生への取組も重要な課題です。これまでの取組をいっそう「シンカ」させながら、本県の復興をより一層前に進めることができるよう、各部署局長がそれぞれの立場でリーダーシップを発揮してください。

#### 【鈴木副知事】

以上で、合同会議を閉じます。